

サステナブルな経営への想い

OKIグループは、モノづくり・コトづくりを通して、より安全で便利な社会のインフラを支えることを目指し、その歩みを進めてきました。環境問題、労働力不足、感染症対策など、社会が直面している課題についてその社会を構成する者として我が事と受け止め、その解決に向け、真摯に取り組むことを大切にしています。新たに策定した中期経営計画では、ESG視点での経営優先テーマ「マテリアリティ」を特定し、取り組みを加速させています。OKIグループは、社会やステークホルダーのみなさまのご期待やご要請に応え、社会とともに、持続的な成長を目指してまいります。

ニューノーマルな社会への対応

— 感染症予防へのソリューション —

新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の衛生面への意識が高まりました。安全・便利で、サステナブルな街の実現に向け、OKIは非接触・非対面を実現するソリューション提供を強化しています。生活のさまざまなシーンで利用されているセルフ端末には、画面に直接触れずに操作ができる「ハイジニック タッチパネル^{*1}」を開発、またドライブスルーでのETC決済サービス^{*2}



の試行運用にも着手しています。

※1 <https://www.oki.com/jp/press/2020/09/z20053.html>

※2 <https://www.oki.com/jp/press/2020/07/z20030.html>

— スマート・ワークライフ実現への取り組み —

OKIは、2020年8月に「スマート・ワークライフプロジェクト」を発足させました。社会課題解決に貢献する企業としてサステナブルな事業活動を行っていくために、ウィズ・アフターコロナにおける新しい生活様式も見据えた生産性の高い働き方とワークライフバランスを描き、勤務制度の見直しや働き方改革、オフィス改革、そして印鑑レス化など業務そのものの見直しを推進していきます。



ES 取り

環境への対応

— 社会のダメージを軽減 —

巨大台風や集中豪雨、そして記録的な猛暑など、地球温暖化による影響が現実となって、私たちの生活に支障をきたしています。OKIは、2030年、2050年をターゲットとした中長期環境ビジョンを掲げ、お客様や社会の環境負荷低減を実現する省エネ商品の提供や、サプライチェーンにおけるCO₂削減などに取り組んでいます。また、気候変動がもたらす自然災害への対策として、OKIは防災行政無線や消防無線のほか、河川の水位変化を予測するソリューションなど、事業を通じて防災・減災への取り組みに注力しています。



緊急・災害時の対応

OKIグループでは、国内外の拠点や子会社に「防災対策委員会」を設置し、災害発生時にも「生命の安全確保」「二次災害の防止」「地域貢献・地域との共生」「事業の継続」が図れるよう、取り組みを行っています。

新型コロナウイルス感染症との対峙においては、WHOが緊急事態宣言を発した翌日の2020年1月31日に対策本部を立ち上げ、感染拡大の防止と事業の継続に努めています。



OKIのESGの取り組みの詳細については、ホームページ
<https://www.oki.com/jp/sustainability/> をご参照ください。

